



一体、これは何なのか。

毎年4月13日からタイの正月ソクランである。

この正月の祝い方が滅茶苦茶なのである。

これまで、話には聞いていたが、この期間に滞在したことはなかった。

今回、4月15日、いわゆる正月3日の夕刻、マニラよりバンコクに戻りついた。

そして、そのまま直行した場所がバンコクの中でもその滅茶苦茶加減では一二を争うと聞いている、ここシーロム通りの歩行者天国であった。

ソクランは別名「水掛け祭り」、水を掛け合い、ふざけ合ってはしゃぐお祭りなのだ。

ここに集まるのは、これが目的であり、覚悟のうえの参加であるから、情け容赦はない。

勿論、私も例外ではなく、通りに着くなり、巨大水鉄砲の洗礼と、顔には白粉（おしろい）を塗りつけようとする何本もの手が伸びてくる。

そして、さらに進むと、何と消防自動車の放水が待ち受けているではないか。

これを逃れて、歩道に上がれば、そこには露天のオバちゃんが構えていて、バケツの水を浴びせられる。

ここには見物人はいない、観光客もタイ人に負けないくらい水を掛け合い嬌声をあげる。

通りに立ち並ぶ野外ステージには、びしょ濡れの美女たちがロックに乗せてあやしく踊る姿もある。

タイ人の遊び心にしっかり触れながら、一緒になって思い切り馬鹿になれたひと時であった。

（水を浴びすぎた私のデジカメが残した最後の写真でもある。）